

## 百花繚乱 R5 白峰祭レポート 中学生編



先週木曜日(11月2日)の午後に開催した芦安小中白峰祭について、中学生の様子を中心に振り返ります。

その前に……。芦安小中白峰祭は、芦安ふれあい運動会と同じく、コロナ禍を経て、昨年度から開催している小中合同活動です。ただ、昨年度は、演劇や独唱、音楽部の発表、英語スピーチ等、内容を盛り込みすぎ、生徒の負担がかなり大きな取組となってしまいました。そこで、今年度は、その反省のもと、白峰祭の開催時間を1時間30分程度に設定する中で、子ども達(小学生も含めて)に無理のない取組を目指しました。もちろん、無理のない＝「楽をする」という意味ではありません！

### 【R5白峰祭ハイライト① 開・閉祭宣言】

「白峰祭」は、芦安中学校・生徒会長による開祭宣言で始まり、閉祭宣言で終わります。開祭式では、「それぞれの色(持ち味・強み)を出して表現する」ことを力強く宣言しました。閉祭宣言では、「一人一人が力を出し切った」ことを全員で確認しました。

開祭宣言、閉祭宣言、感想発表等、大活躍の生徒会長でした。右端には、進行役を務めた生徒会役員の姿も見えます！



## 【R5白峰祭ハイライト② 中学生の発表】

取組当初は、それぞれの楽器の音がバラバラだった器楽演奏。自分のパートを演奏するだけで、手一杯という感じでした。しかし、埴原先生からの助言をもとに、全体練習を繰り返す中で、互いの音色を聞き合う姿勢が出てきました。白峰祭当日の生徒の姿、保護者のみなさんには、どのように映ったでしょうか？



器楽演奏後には、昨年度同様に、前撮り映像とライブ劇を融合させたハイブリッド演劇を披露しました。演題は、「その後のシンデレラ」。「シンデレラ」は、お馴染みのグリム童話の一つです。ハッピーエンドで終わった後の様子を劇にしました。登場人物の人間模様がとてもおもしろかったです。前撮りは撮り直しがききましたが、ライブ劇はそうはいきません。前日まで、細かな調整を繰り返し、本番に臨みました。昨年度よりも、全体的に演技力が高かったように感じました。





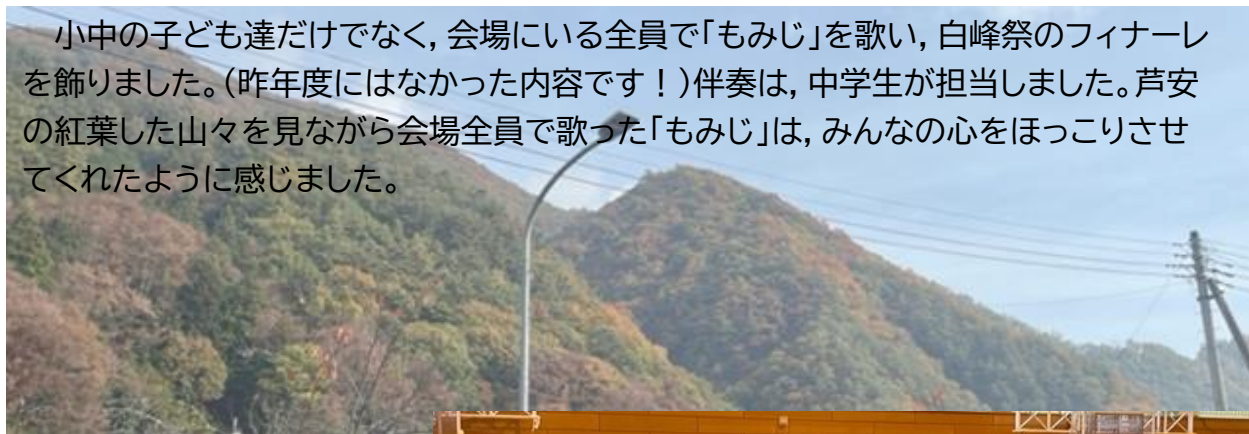
### 【R5白峰祭ハイライト③ 小中合同太鼓】

太鼓講師・宗学史先生の指導の下、今回のメンバーで練習を始めたのは、ちょうど1年前です。年間20回(1回1時間弱)という限られた練習時間でしたが、本番では、迫力ある演奏を披露してくれました。太鼓活動は芦安小中学校独特の取組ですが、この活動を通して、子ども達には、みんなで一つのことをやり遂げることの大切さを感じてもらいたいと考えています。



### 【R5白峰祭ハイライト④ 全体合唱】

小中の子供達だけでなく、会場にいる全員で「もみじ」を歌い、白峰祭のフィナーレを飾りました。(昨年度にはなかった内容です！)伴奏は、中学生が担当しました。芦安の紅葉した山々を見ながら会場全員で歌った「もみじ」は、みんなの心をほっこりさせてくれたように感じました。





## 【R5 白峰祭ハイライト⑤ 小学生の活躍の様子】



白峰祭終了により、3年生の生徒はいよいよ自分の進路を決める大切な時期を迎えます。1・2年生にとっても、次年度に向けて、自分の力をさらに伸ばしていかなければいけません。白峰祭の取組で学んだことや課題点等を一人一人が確かめ、今後の学習や活動につなげてもらいたいです。



多目的室での反省会の様子。昨年度よりも短時間開催の白峰祭でしたが、反省会では、どの生徒も達成感、満足感に満ちた表情をしていました。テーマの「百花繚乱」にふさわしい取組でした。

会場の展示品もご覧いただけましたか？日頃の学習や活動での生徒の成果物です。



最後になりましたが、白峰祭実施にあたり、保護者の皆さんには、ご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。